

WILCOMM

ウィルフォームス Field Mapper Tutorial < 補足資料 >

MAP002 (Last Update : 2002/5/7)

© Copyright 1999
Wilkinson Computer Services Pty Ltd



サンプル・スプールファイルの変換

ウィルスプールを使用して、ウィルフォームで作成したフォームと重ね合わせ(マッピング)情報の定義に使用するサンプル・スプールファイルのPCファイルへの変換を行います。

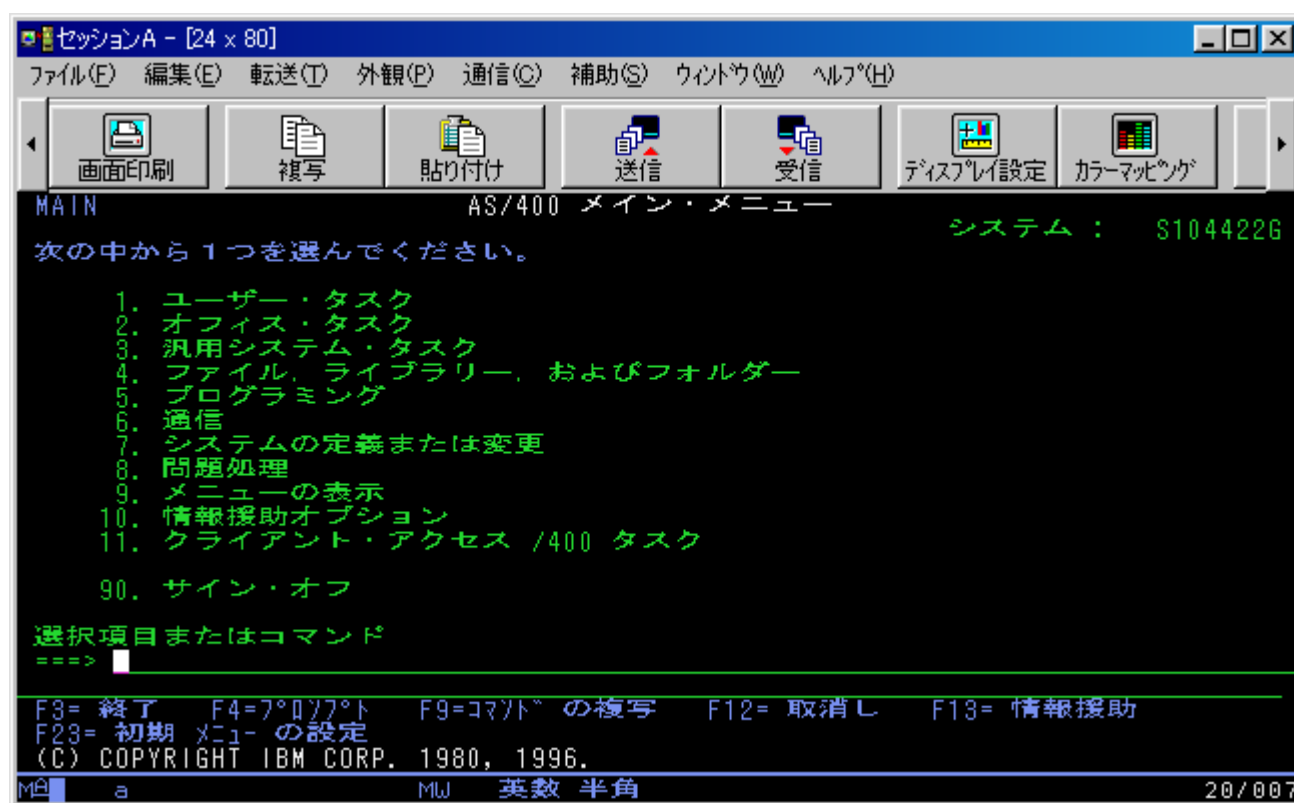
ここでの説明は“Forms Designer Tutorial”と“Field Mapper Tutorial”との関連は一切ありません。

PCファイルへの変換方法及び、フィールドマッパーを使用する事前準備としての基本作業を説明いたします。

事前準備

PCファイルへ変換するサンプル・スプールファイルの作成をいたします。

WilComm / 400が導入されている、AS / 400へWilCommが使用できるユーザープロフィール(*1)でサイン・オンして下さい



*1 WilCommが使用できるユーザープロフィールの登録は別のマニュアルを参照して下さい。

サンプル・スプールファイルを作成します。コマンドラインに以下を入力して下さい。

コマンド“DSPLIB LIB(QGPL) OUTPUT(*PRINT)”

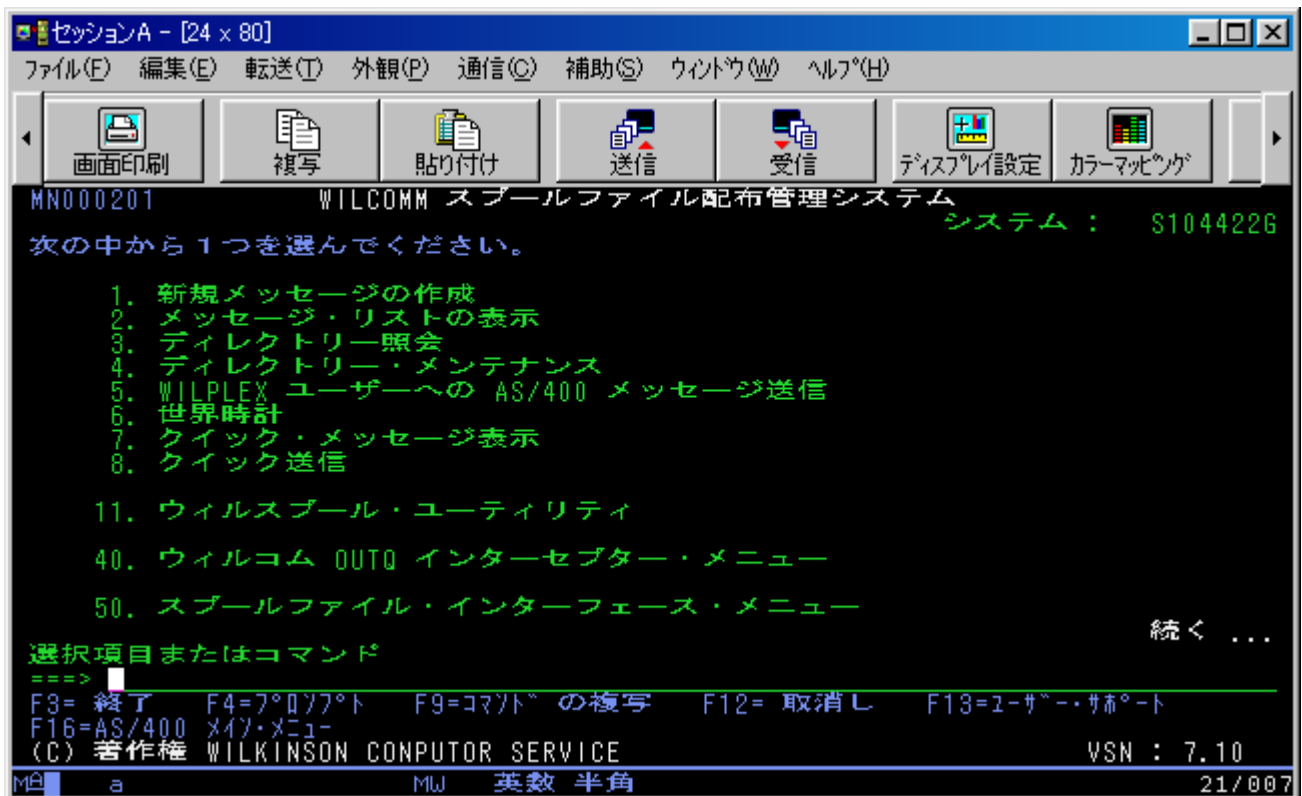


PCファイルへの変換

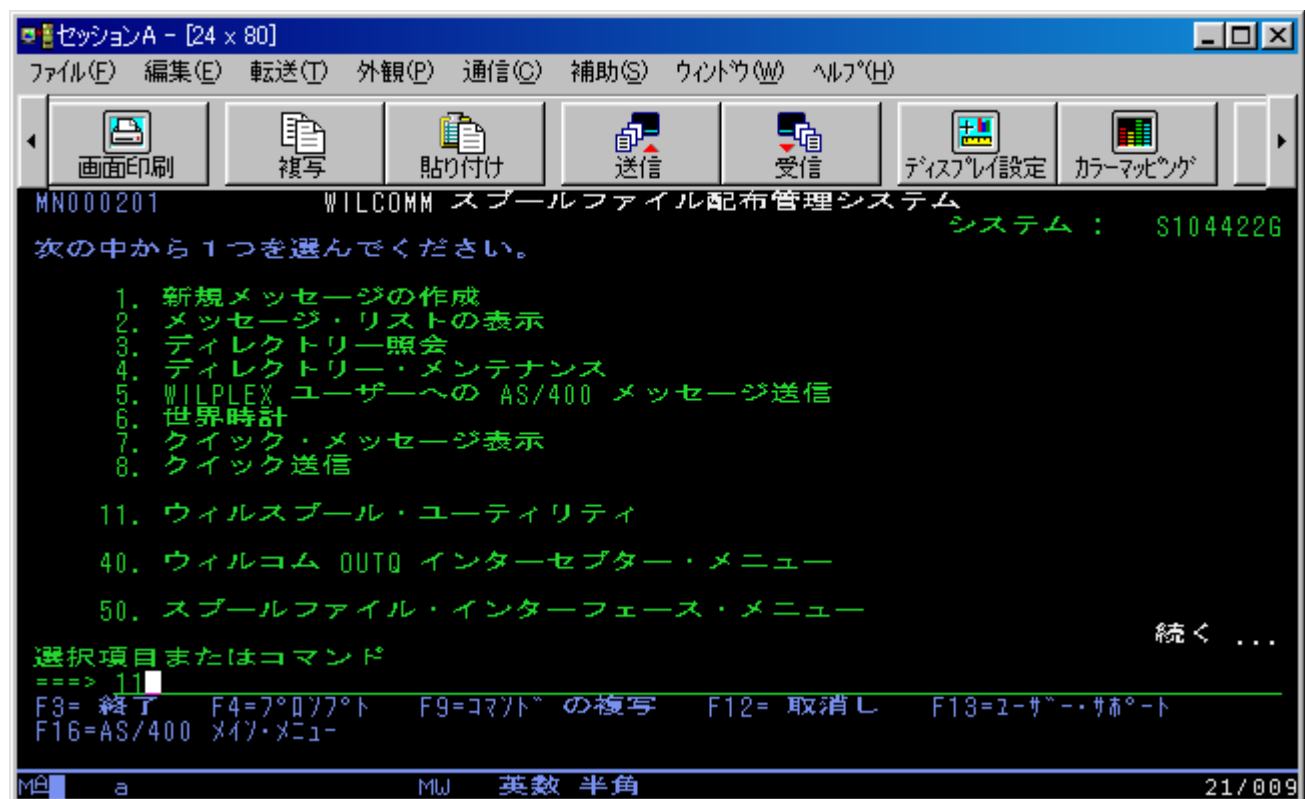
WilComm / 400を起動します。コマンド・ラインに“GO W”を入力し実行キーを押して下さい。



WilCommが起動されますと、以下の画面が表示されます。メニュー内容についてはユーザープロフィールの設定内容により異なります。



コマンド・ラインに“11”を入力し、実行キーを押します。(ウィルスプール・ユーティリティーの起動)



注意:メニュー上にウィルスプール・ユーティリティーが表示されるのは、WilComm / 400のバージョンが Ver7.1以上になります。

メニューにウィルスプール・ユーティリティーがない場合はコマンド・ラインに以下を入力して、ウィルスプールを起動して下さい。

コマンド:WILSPOOL

フィルタリング情報を入力し、実行キーを押して下さい。

Ver6.5以前での場合は、当画面が出力されません。次のページの画面が表示されます。



上記で作成したライブラリー情報 (DSPLIB) のスプールが表示されます。

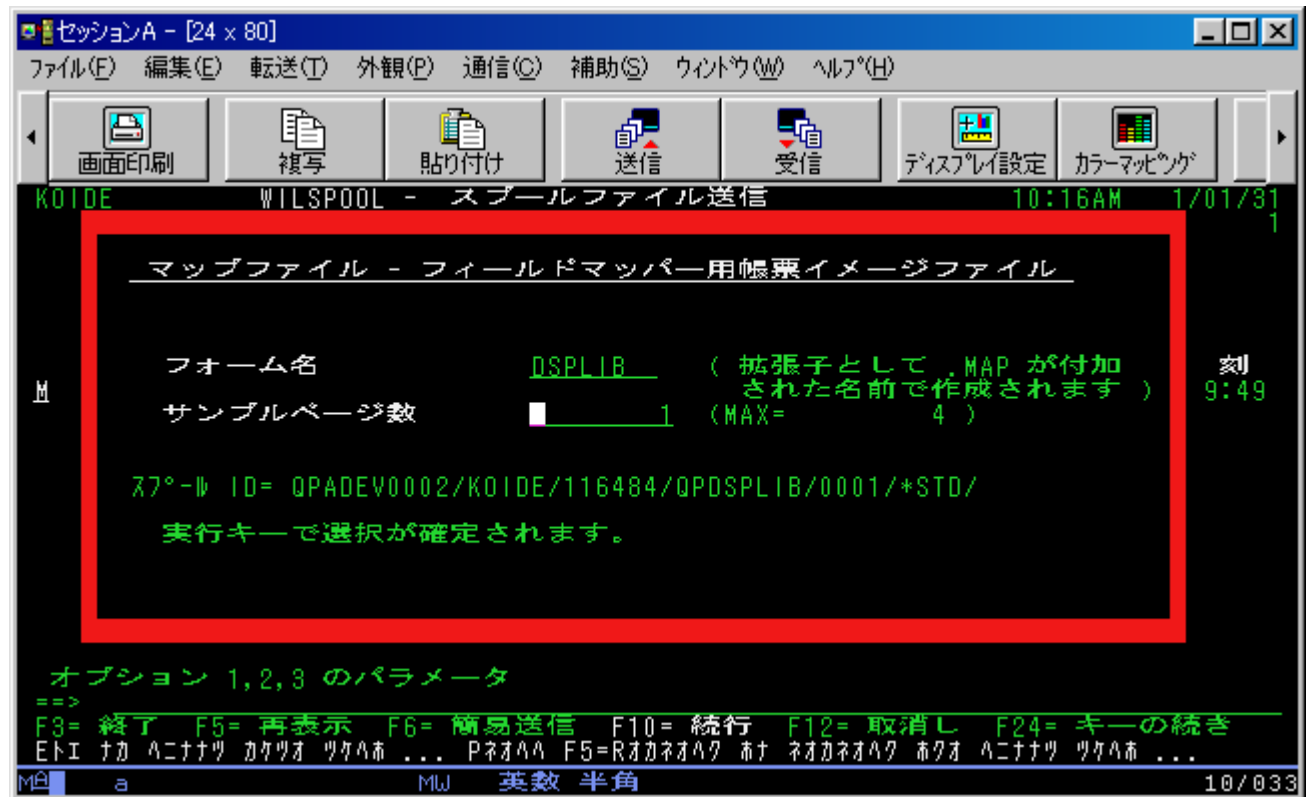


メッセージが文字化けしておりますが、現在ダブルバイト化対応中です。(CTRL + F3 キーでメッセージがシングルバイトで表示されます)

PC ファイルに変換する対象スプールファイルのオプションに“M”(マップファイル)を入力し、実行キーを押して下さい。



フォーム名を入力し、実行キーを押して下さい。



ここで、指定したフォーム名に拡張子、MAPでPCファイルが作成されます。

処理が終了しますと、一覧画面(以下の画面)に戻ります。



これにて、AS / 400側での処理が終了です。

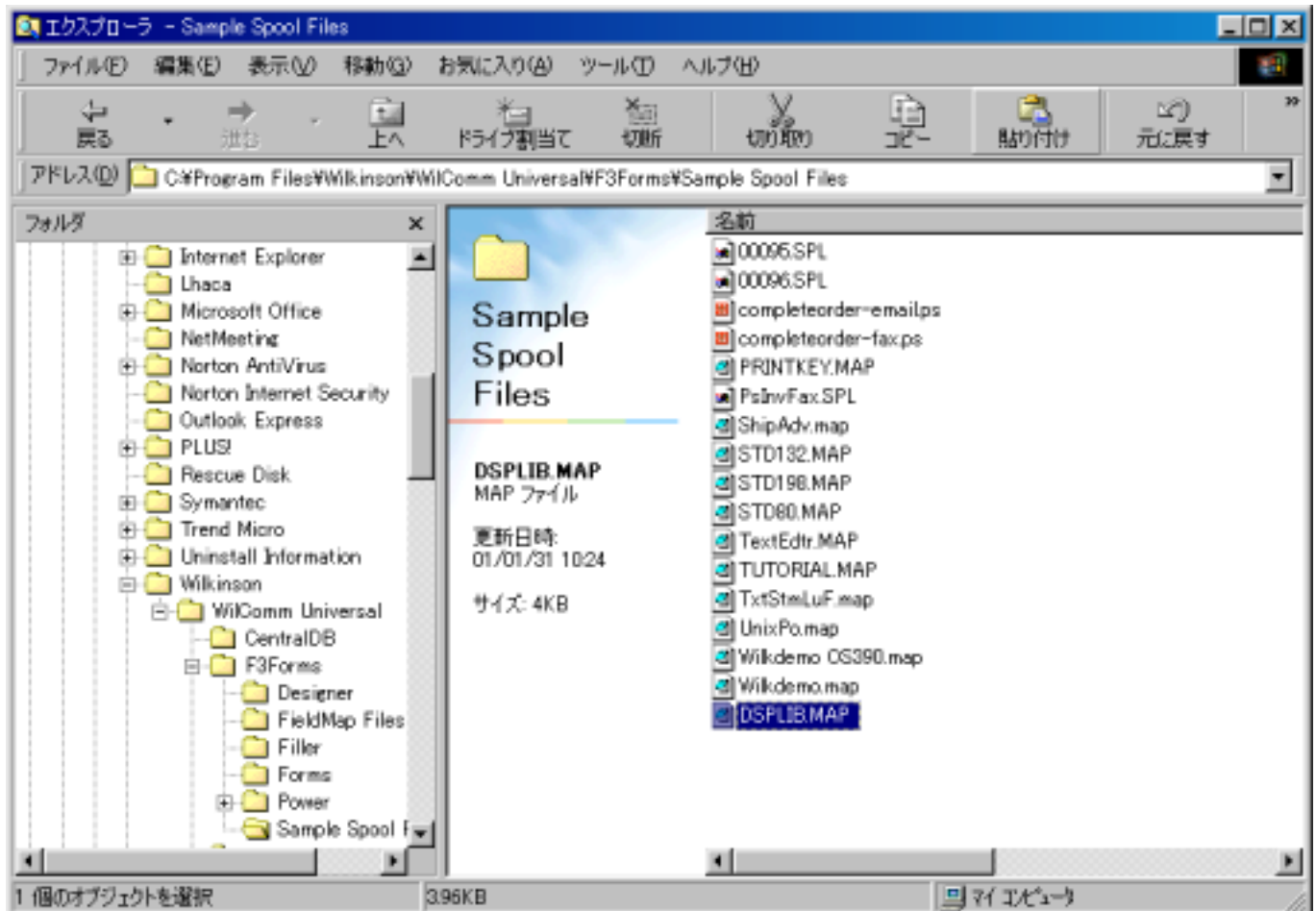
上記までで作成した、PCファイルはAS / 400の共有フォルダーに格納されます。
この共有フォルダーはPCサーバーにWilCommを導入した際にネットワークドライブに割り当てられています。
フィールド Mapperでサンプル・スプールファイルとして使用するために以下の手順を実行して下さい。

PCサーバーの以下のフォルダーから変換されたPCファイル(AS / 400側の処理で指定したフォーム名.MAP)をサンプル・スプール格納フォルダーにコピーして下さい。

コピー元フォルダー: PCサーバーに割り当てたAS / 400の共有フォルダー ¥ FormMaps



コピー先フォルダー：¥ Program Files¥ Wilkinson¥ WilComm Universal¥ F3Forms¥
Sample Spool Files



フォルダー“Sample Spool Files”に変換されたスプール・ファイルを格納する事により、
フィールドマッパーでの使用が可能になります。